

報告



第43回 北海道支部定期総会報告

(社)日本技術士会北海道支部 事務局次長
技術士（建設／総合技術監理部門） 森 隆 広

隆 広

1. はじめに

日本技術士会北海道支部の第43回定期総会が2008年（平成20年）4月30日ホテル札幌ガーデンパレスで開催されました。北海道支部と北海道技術士センターが統合されてからの初めての定期総会でしたので出席状況が気でしたが、いざフタを開けてみれば、過去最高数の出席結果となりました。

総会の配付資料（議案内容等）については、後ろの定期総会報告に掲載しておりますので、ここでは主に講演会および懇親会の会場の様子を中心に報告します。



写真－2 右より大島支部長、齊藤副支部長、能登副支部長

2. 総会

(1) 出席状況

- ・支部会員 183名
- ・協賛会員 93名
- ・委任状 299名

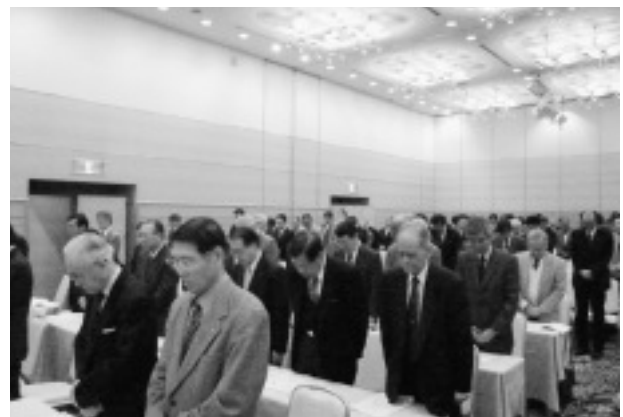
会場出席者は、合計276名で過去最高

(2) 審議状況

総会は2週間ほど前（4月中旬）に亡くなった栗林隆技術士（建設部門）を惜しんで1分間の黙祷を捧げて始まりました。栗林氏は1977年（昭和52年）～1987年（昭和62年）の5期10年に渡って副支部長を務められました。心よりご冥福をお祈りします。



写真－1 開催挨拶をする大島支部長



写真－3 黙祷する会場出席者

平成 19 年度決算及び平成 20 年度予算案については賛成多数で無事承認されました。決算・予算の会計科目を日本技術士会のそれに則って整理し直したため、主に技術士全国大会開催への準備金としている特別事業積立金に関して会場から 2～3 の質問がありました。事務局からの説明でご理解頂けました。



写真－ 4 会員からの質問の様子（その 1）



写真－ 5 会員からの質問の様子（その 2）

3. 講演会

今回は道路特定財源を巡る国会審議が混迷する中、スケジュールの合間を縫って国土交通省北海道局の高松泰参事官にお越し頂き、「新たな北海道総合開発計画」と題して講演を頂きました。総会の出席者数が過去最高となったのも、ちょうどタイムリーなお話を高松様から聞くことができるという期待があったからだと推察できます。

(1) 地球環境時代を先導する北海道総合開発計画（案）について



写真－ 6 演題と講師の高松様

まだ閣議決定前でありましたが、標記案について全体構成（第 1 章～第 4 章）の概要説明を頂き、特に第 2 章の中の 3 つの戦略的目標について詳しく説明を頂きました。

- ・戦略的目標 1：アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現
- ・戦略的目標 2：森と水の豊かな北の大地～持続可能で美しい北海道の実現
- ・戦略的目標 3：地域力ある北の広域分散型社会～多様で個性ある地域から成る北海道の実現

これらの計画案の詳細につきましては、北海道開発局のホームページに掲載されておりますので下記 URL を参照して下さい。

<http://www.mlit.go.jp/hkb/newplan/index.html>

現在は第 1 期から数えて第 6 期計画に相当し、2008 年度からの新たな計画（第 7 期とは言わない？）を検討するに当たって高松様は過去の計画内容を振り返ってみたそうです。

第 4 期計画では目標値を明記し、シンプルな構成だったのが、第 5 期計画から事業量が明記されなくなったとの説明がありました。また、ふゆトピアなどソフト系の内容にシフトしており、そのためか文章量が多いというのも特徴だそうです。

第 6 期計画は、拓銀の倒産、豊浜トンネル岩盤崩落事故、苫小牧東部開発(株)の清算など、北海道にとって暗い大きな出来事があった時代に作られていると



写真-7 講演する高松様



写真-8 講演に聴き入る会場の様子

の話があり、見てみると確かに内容も自立する北海道の実現を第一の基本理念としています。

一方、新たな北海道総合開発計画では、今回新たにタイトルに「地球環境時代を先導する」という言葉をつけたという説明が最初にありました。参事官室では関係しそうな情報に関して地道に収集・整理を行ったというような具体的な例なども交えて新たな計画の考え方や策定過程等の説明を頂きました。北海道が先導し、イニシアティブを発揮していく時代を見据えたこの新たな計画に期待・貢献したいと思いました。

また、講演の最中に突然としてプロジェクターの電源が一時的に落ちる事故がありました。公演後にホテル会場系のミスに起因していることが判明しましたが、突然のハプニングにも拘わらず、臨機応変に丁寧な講演を続けて下さった高松様ならびに参加者の皆様に改めてこの場を借りてお礼とお詫びを申し上げます。

4. 懇親会

(1) 出席状況

17:45より会場を隣の部屋に移して懇親会が開催されました。懇親会には会員162名の出席があり、総会と同様、過去最高の参加者数となりました。

(2) 懇親会の状況

例年より宴会テーブルが4~5卓多く、熱気あふれる中、大島支部長の挨拶の後、講演を頂いた高松様の乾杯で懇親会がスタートしました。



写真-9 挨拶する
大島支部長



写真-10 乾杯の音頭
をとる高松様

また、会員の中にはめでたく春の叙勲(4月29日付け)を受賞された方が3名おられたので、壇上へ上がったの報告を頂きました。改めてこの紙面をお借りしてお祝い申し上げます。

- ・瑞宝中綬章 (北海道開発行政事務功労)
高橋 陽一 氏 (建設部門) 72歳
- ・瑞宝小綬章 (教育功労)
佐藤 隆一 氏 (農業部門) 78歳
- ・瑞宝双光章 (北海道開発行政事務功労)
工藤 昇 氏 (建設部門) 70歳

懇親会では各テーブル席での歓談に止まらず、色々なところで名刺交換や情報交換、あるいは最近の話題に関して話が飛び交い、大変賑やかな時間が過ぎていきました。

皆さんの笑顔と歓談が尽きず名残惜しい中、最後



写真-11 (左から高橋氏、佐藤氏、工藤氏)



写真-14 懇親会会場の様子 (その3)



写真-12 懇親会会場の様子 (その1)



写真-15 懇親会会場の様子 (その4)



写真-13 懇親会会場の様子 (その2)

に齊藤副支部長の万歳三唱で締めくくり、懇親会はお開きとなりました。

5. おわりに

北海道支部と北海道技術士センターが統合されて1年が経ち、今までにない多くの会員の方々の出席を頂き無事総会を終えることができました。

最後になりましたが、支部活動が活発になることによって魅力が増して支部会員が増え、そしてさらに益々支部活動が活発になると言う成長の相乗効果が得られるよう、今後も会員皆様のご協力をお願いいたします。



写真-16
閉会の挨拶をする
齊藤副支部長